

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課長 高橋 泰幸	電話番号	0852-22-5408
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	特別な支援のための非常勤講師配置事業		
目的	(1) 対象	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通常学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症等のある児童 ・小中学校の多人数の特別支援学級 	
	(2) 意図	一人一人のもてる力を高め、生活や学習上の困難を克服し安心して学校生活を送れるようにする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会と県教育委員会が協議の上、対象児童のいる小学校に特別な支援のための非常勤講師を配置する。 ・平成26年度より、小・中学校の特別支援学級の多人数の学級（概ね7人以上）に対して、特別な支援のための非常勤講師を配置する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	TT指導により個別支援を行った児童数の割合（小学校通常学級）	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	%
	式・定義	TT指導により個別支援を行った児童数を通常学級に在籍する支援対象児童総数で除した数値×100（%）	取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	個別支援ルーム等別室において学習指導を行った児童数の割合（小学校通常学級）	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	%
	式・定義	個別支援ルーム等別室において学習指導を行った児童数を通常学級に在籍する支援対象児童総数で除した数値×100（%）	取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	257,317	270,036
うち一般財源 (千円)	172,938	268,626

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級の非常勤講師として、小学校100校に計100名を配置した。 ・特別支援学級の非常勤講師として、小学校5校に5名、中学校5校に5名、計10名を配置した。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>(1) 通常の学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童への個に応じた支援・指導を行うことにより、安心して授業を受けることができ学習意欲の向上につながった。また、その継続的な指導により対象児童の自己肯定感が高まった。 ・対人関係の課題においても、非常勤講師のカウンセリング的な対応により対象児童のストレスが軽減し、自己肯定感が高まった。 ・上記のような対象児童の変容に伴い、周囲の児童にも落ち着いた様子が見られるなどの改善があり、学級集団の一体感が醸成された。 <p>(2) 特別支援学級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動やグループ活動などの工夫した学習形態を取り入れることが可能になり、相手の思いや考えを理解するためのスキルを個別に指導することによって、対人関係を形成する力が高まった。 ・突発的な行動や衝動的な行動があった場合に、個別の対応を行うことで児童生徒の安定を図ることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の要望を聞いた上で非常勤講師の配置を行っているが、特別な支援が必要な児童生徒数は増加傾向にあり、十分な対応ができないため苦慮している学校が少なくない。 ・通常の学級においては、各校1名の非常勤講師を配置しているが、複数配置を希望する学校もある。 ・特別支援学級においては、7人未満（本事業対象外）でも学年差や発達段階の差が大きい学級もあり、担任一人では個に応じた指導や支援ができていない。 <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童の増加とその対応で、教員の指導上の困難さや負担が増加しているため。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒の障がいの程度や特性、学力差等が広範囲に渡っており、教員の指導上の困難さや負担が増加しているため。 <p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒へ個に応じたきめ細かな指導や支援を行うため、校内における適切な人員配置と指導体制の整備が課題である。 ・特別な支援を必要とする児童生徒に対しての効果的な指導方法に関わる校外及び校内研修の充実が課題である。
--

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の状況や実態を十分に把握し、県全体のバランスを考慮しながら、より効果的な非常勤講師の配置を行う。 ・各校教員と非常勤講師が連携を密にして児童生徒の指導に当たることができるよう、特別支援教育コーディネーターや非常勤講師を対象とした研修内容の充実を図る。 ・上記の方向性で取り組んでいくために、学校企画課、特別支援指導課及び県教育センター等が情報共有を図り、円滑に事業を運営する。
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	特別な支援のための非常勤講師配置事業
---------	--------------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	非常勤講師1人あたりの支援対象児童生徒数(小中学校特別支援学級)	目標値		7.0	7.0	7.0	7.0	人
			取組目標値						
	式・定義	非常勤講師配置校の支援対象児童生徒数を非常勤講師配置人数で除した数値×100(%)	実績値	7.1					%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	